

## 第49回山梨総合医学会演題募集のお知らせ

第49回山梨総合医学会の演題募集をいたします。

令和4年11月8日

山梨医学会長 瀧山 嘉久

### ◎ 開催概要

開催日 令和5年3月5日(日)

ZOOM システムを用いたウェブ上での開催

### ◎ 募集対象

県内の医療機関に所属する医療従事者(医師会会員、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、リハビリテーションスタッフ、ケアマネージャー等)で共同研究者に山梨県医師会会員を含むこと

### ◎ 会員研究発表会演題募集要項

1. 演者(共同演者を含む)、所属、本文800字の抄録を E-mail で山梨医学会宛 (igakukai@yamanashi.med.or.jp) お申し込み下さい。  
次の体裁を原則とします。  
臨床・基礎研究: 「はじめに」・「対象と方法」・「結果」・「考察」・「結語」  
症例報告: 「はじめに」・「症例」・「考察」・「結語」
2. 連名で発表の場合は、演者に○をつけて下さい。なお、共同研究者のなかに、**県医師会会員一人以上を含むこと**。
3. 発表形式は**口演発表**と**ポスターセッション**の2種類といたします。
  - (1) **口演発表: 医師のセッションとコメディカルのセッションの発表者**
    - ① Windows 10 PowerPoint2019 で作成したデータを CD-R または DVD-R で 令和5年2月27日(月)までにお送りいただくことになります。(USB メモリはコンピュータウイルス感染の問題があったため不可。お送りいただいたメディアの返却はいたしません。)
    - ② 動画も受け付けますが、当日のデータ差し替えはできません。
  - (2) **ポスターセッション: 研修医のセッションの発表者**  
横 80 cm、縦 165 cm の掲示スペースを用意いたします。
4. 発表を希望されるセクションを、抄録左上に御記入下さい。
  - ① **医師のセッション (発表6分 質疑2分)**  
呼吸器、循環器、消化器、腎臓透析、血液、感染症、内分泌代謝、リウマチ・アレルギー、神経内科、精神科、小児、皮膚、放射線科、検診、在宅、病診連携、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、一般外科、内視鏡手術、乳腺、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、救急、総合診療科(東洋医学を含む)、リハビリテーション科、その他
  - ② **研修医のセッション (発表8分 質疑2分)**  
研修医
  - ③ **コメディカルのセッション (発表6分 質疑2分)**  
薬剤管理、放射線技術、放射線管理、地域医療連携、臨床栄養、臨床工学  
臨床検査、緩和ケア、NST、感染防止、専門看護、リハビリテーション  
その他

5. 同一診療科で、複数の演題応募をする場合は、優先順位を希望セクションの後に御記入下さい。
6. 同一発表者の演題応募は、2題までとします。
7. 演題の採否はプログラム委員会で決定します。  
新型コロナウイルス感染症の感染対策として演題数の制限、または発表時間を短縮させていただく場合があります。ご了承いただきますようお願い致します。
8. 症例の発表等においては、個人情報の保護に十分御留意下さい。
9. 演題を投稿してから3日間返信のない場合はお手数をお掛け致しますが、再度山梨医学会事務局にご連絡いただきますようお願い致します。

抄録締切日 令和5年1月13日(金) 必着のこと

送り先 〒400-8551 甲府市徳行5丁目13-5

山梨県医師会館内 山梨医学会 宛

E-mail : igakukai@yamanashi.med.or.jp TEL 055-226-1611

## ◎ 利益相反の開示について

下記の要項により利益相反を開示してください。利益相反が有る場合は添付の「利益相反申告書」により自己申告してください。

### 記

1. 利益相反の開示は筆頭発表者のみに限定する。
2. 演題応募時の抄録の末尾に利益相反の有無を記載する。
3. 利益相反が有る場合は出題時に規定の自己申告書に記載し、事務局へ提出する。
4. 口演発表はスライドの2枚目に利益相反の有無を記載する。
5. ポスターセッションは、ポスターの最後に利益相反の有無を記載する。

○本会は山梨内視鏡下手術研究会との共同開催です。山梨総合医学会での発表は日本内視鏡外科学会の業績となります。演題応募の際に演者名の前に(視)と記入してください。

○初期研修医を対象に学術奨励賞の表彰を行います。演題応募の際に演者名の前に(研)と記入してください。

## 利益相反申告書

山梨医学会 御中

演題名

筆頭研究者の、演題応募時から遡って過去1年以内の発表内容に関する企業・組織または団体との利益相反について、下記に申告してください。

項目	該当の有無	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑦奨学(奨励)寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が200万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有・無	

筆頭研究者名(署名)： \_\_\_\_\_

年 月 日 提出